

（知事コメント）

第3回熊本県中九州横断道路事業調整会議における 国への提案について（知事コメント）

中九州横断道路の現在の状況などに係る情報共有を図るため、国・県・熊本市において設置した「熊本県中九州横断道路事業調整会議」の第3回会議を、本日開催しました。

中九州横断道路沿線では、国家プロジェクトであるTSMC関連のJASM第1工場が本格的に操業を開始され、第2工場についても敷地造成工事が進むなど、更なる企業集積の進展が見込まれます。

半導体関連産業の集積に伴う物流の効率化、人流の円滑化を図るためには、セミコンテクノパーク周辺の幹線道路ネットワークの中心的な道路である中九州横断道路の早期整備が不可欠です。

そのため、前回の第2回会議では、県・熊本市より、中九州横断道路の早期整備に向け、有料道路事業導入を提案したところです。

そして今回、特に「大津西～下硯川」間について、早期整備の観点から、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう、新たに提案を行いました。

今後も、中九州横断道路の1日も早い全線開通に向け、地元自治体と連携し、有料道路事業導入に伴う都市計画手続き等、必要な手続きを進めます。有料道路事業導入への県民の皆様の御理解をいただけるよう、県で主体性を持って全力で取り組んで参ります。

道路整備課

担当：竹野、橋本

直通：096-333-2871